

1 令和元年度のがん検診市町村チェックリスト遵守率(国立がん研究センターによる調査)

がん検診事業評価のためのチェックリストにおいて、未達成の項目がある場合は、対応策を検討してください。

フィードバック案(ご意見をいただきたい内容)

長野県内の市町村で未達成が多い項目は、以下のとおりです。

- 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか
- 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しましたか
- 上記の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか
- 仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか
- 検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認しましたか
- 検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
- 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
- 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか
- 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしましたか

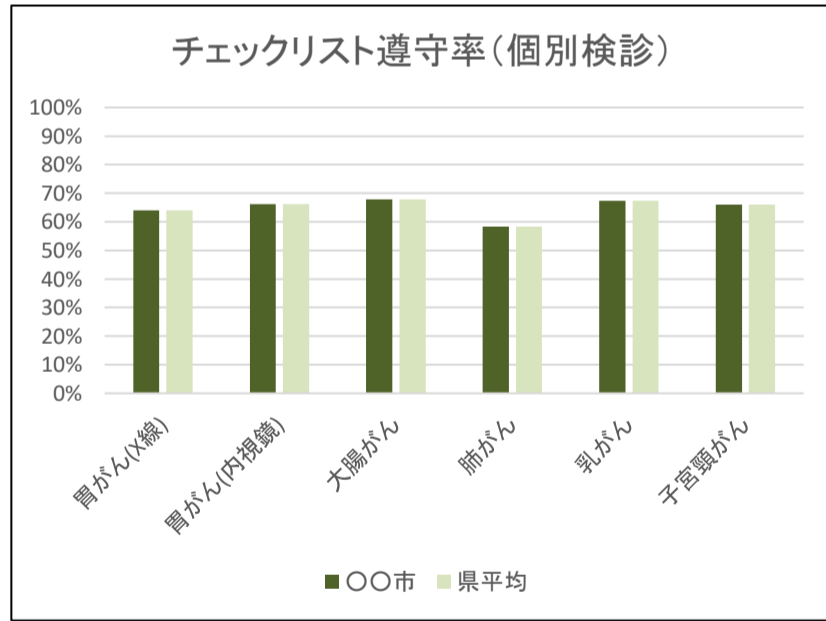
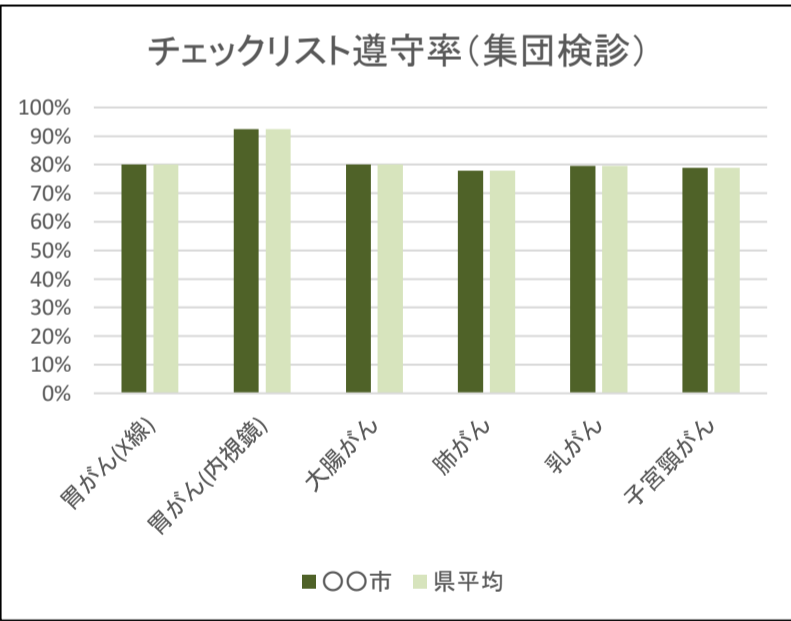
対応策の検討に当たっては、「国立がん研究センター「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル<第2版>」を参考にしてください。

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/screening/screening_manual.html
(国立がん研究センター がん情報サービス)

※評価基準について A:遵守率100%、B:80~100%未満、C:60~80%未満、D:60%未満、-:検診実施なし(評価対象外)、指針外の検診実施、未回答等

【集団検診】		胃がん(X線)	胃がん(内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	○○市	80.0%	92.5%	80.1%	77.9%	79.6%	78.9%
	県平均	80.0%	92.5%	80.1%	77.9%	79.6%	78.9%
	事業評価	B	B	B	C	C	C

【個別検診】		胃がん(X線)	胃がん(内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	○○市	64.0%	66.1%	67.9%	58.3%	67.3%	66.0%
	県平均	64.0%	66.1%	67.9%	58.3%	67.3%	66.0%
	事業評価	C	C	C	D	C	C

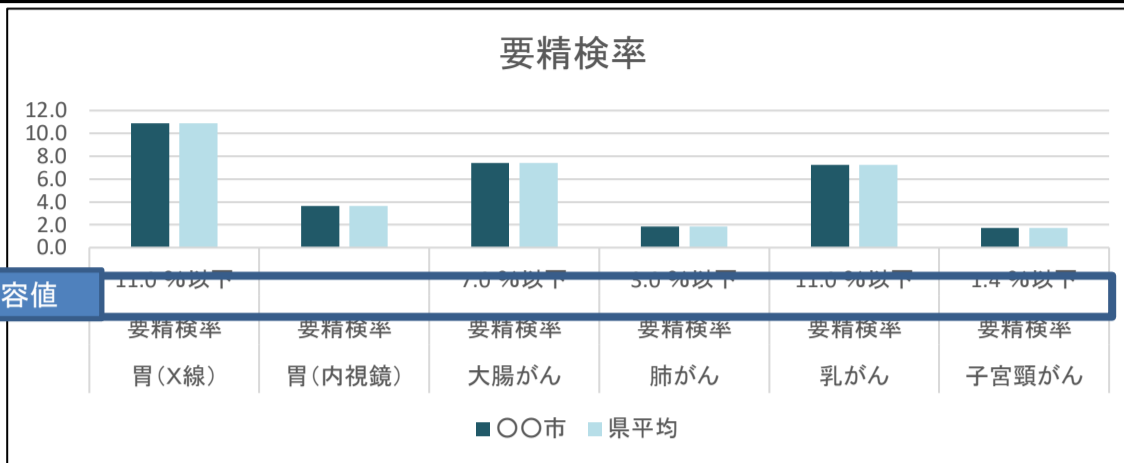


フィードバック案(ご意見をいただきたい内容)

- 精密検査受診率の目標値は90%です。90%を下回っている部位については、対応策を検討してください。
—精密検査未受診者に対して、精密検査の内容・必要性等の説明文書を送付し、受診勧奨を実施してください
- 県内では特に、大腸がんと子宮頸がんの精密検査受診率が低い傾向にあります。

【要精検率】

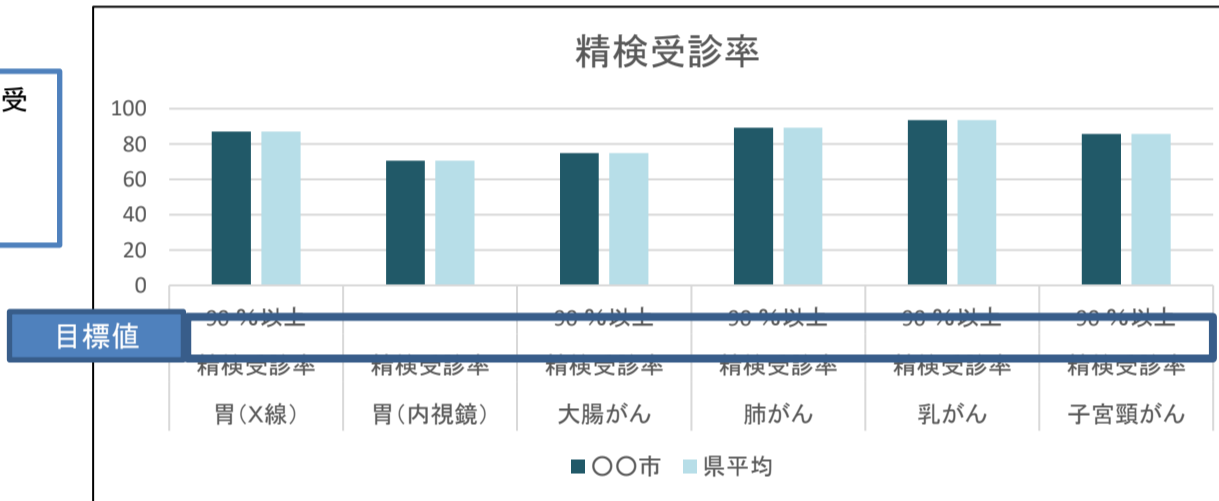
精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標
★極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい



指標値	予想される原因	検討内容
高値	①受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
	②偽陽性が多い	各検診機関の要精検の判定基準は適切か(陽性反応適中度が低い場合、本来は精検が不要な者を要精検と判定している可能性がある)
低値	①受診者が有病率の低い集団に偏っている	有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等)
	②偽陰性が多い	各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

【精検受診率】

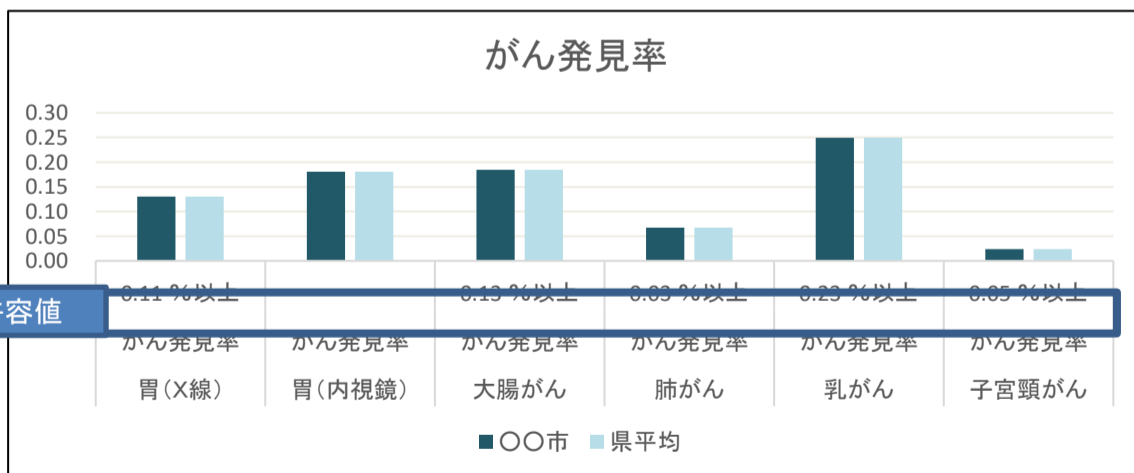
要精検者が実際に精密検査を受信したかを測る指標
★高いことが望ましい



指標値	予想される原因	検討内容
高値	—(100%に近いことが理想)	
低値	①精検受診の有無について未把握が多い	精検受診の有無を確実に把握できる体制が出来ているか
	②精検結果の未把握が多い	精検結果を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルート)
	③精検の受診勧奨が適切でない	受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか
	④精検の提供体制が不十分(キャパシティー、アクセス)	精検受診者の利便性

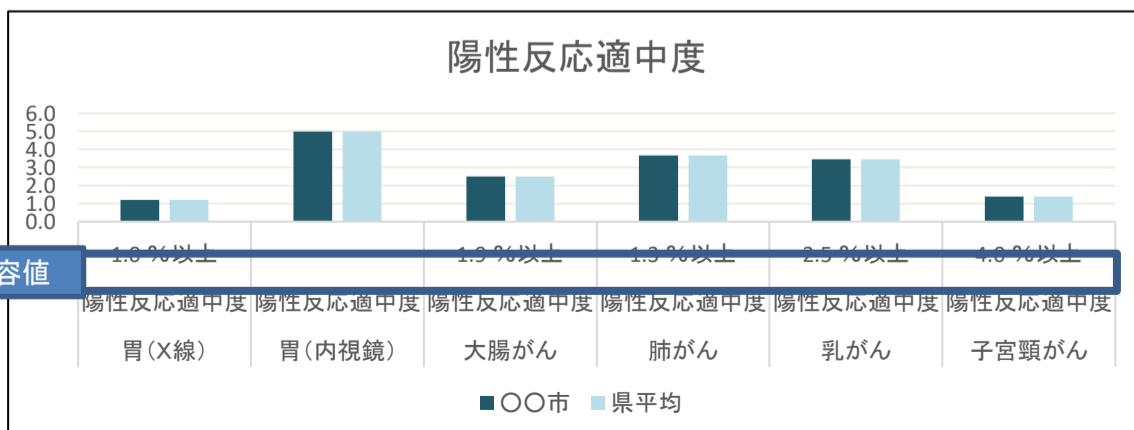
【がん発見率】

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標
★基本的に高いことが望ましいが、極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい



【陽性反応適中度】

その検診において、効率よくがんを発見できたかを測る指標
★基本的に高いことが望ましいが、極端な高値、低値でなく、適切な範囲にあることが望ましい

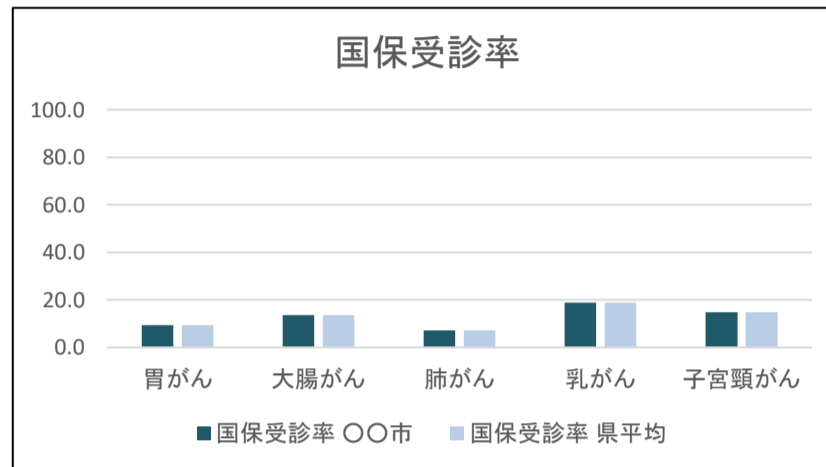
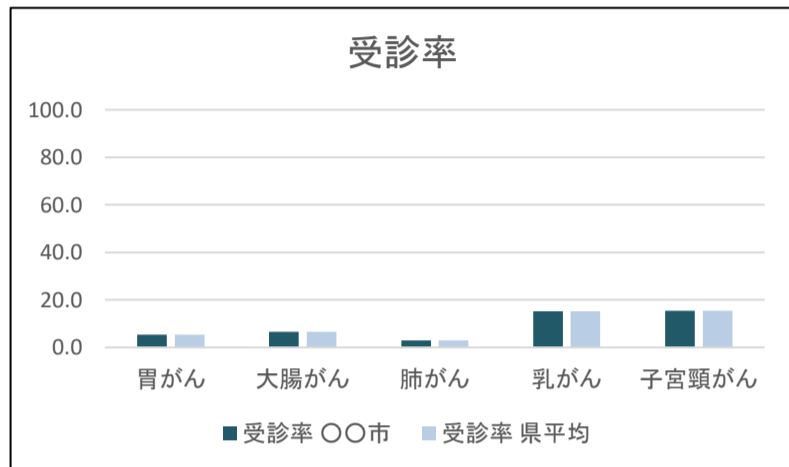


フィードバック案(ご意見をいただきたい内容)

〇がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡の減少を図るため、貴市町村におかれましても、引き続き受診率向上施策に取り組んでください。

- 受診勧奨や、年度途中の未受診者に対する再勧奨を実施してください
- がん検診と特定健診との一体的実施が可能になるよう検討してください

		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
受診率	〇〇市	5.4	6.5	2.9	15.2	15.5
	県平均	5.4	6.5	2.9	15.2	15.5
国保受診率	〇〇市	9.3	13.7	7.1	18.9	14.9
	県平均	9.3	13.7	7.1	18.9	14.9



※国保受診率について

【国保受診率 = 住民検診受診者のうち 国民健康保険の被保険者 ÷ 国民健康保険の被保険者 × 100】

※各受診率について、国指針外の検診・検査方法は含まない。

※乳がん・子宮頸がんの受診率算出方法: (受診者数 + 前年度受診者数 - 2年連続受診者数) ÷ 住民数

4 その他

フィードバック案(ご意見をいただきたい内容)